

2024年6月19日

4社の「SDGs宣言」策定を支援

～地元企業のサステナビリティ経営をサポート～

武蔵野銀行（頭取 長堀 和正）では、取引先4社の「SDGs宣言」策定を支援いたしましたので、お知らせします。

当行では、2021年10月より、地元企業の皆さまのサステナビリティ経営をサポートする伴走型サービスとして「むさしのSDGsコンサルティング」の取扱いを行っており、本件はこれに基づく「SDGs宣言」策定となります。

あわせて、さいたま市の「SDGs企業認証制度」^注申請支援も行っております。

当行は今後も持続可能な地域経済および社会の実現に向け、お客さまのサステナビリティ経営の取組み支援などに注力してまいります。

注 「さいたま市SDGs企業認証制度」

- ・さいたま市が2021年より開始した、SDGsの理念を尊重した経営を推進する市内企業を認証する制度で、企業の持続的成長に向けた取組みを後押しすることを目指しています。
- ・当行は、市内企業のサステナビリティ経営推進に貢献するため、さいたま市との包括連携協定に基づき、「むさしのSDGsコンサルティング」のサービスメニューに本制度の認証取得に向けた支援を加えています。

《「SDGs宣言」策定企業》

- | | |
|-----------------|-----------------------|
| (1) 株式会社 リスター | |
| (2) 株式会社 マルダイ | (さいたま市SDGs企業認証制度申請支援) |
| (3) 有限会社 原山高橋畜産 | (さいたま市SDGs企業認証制度申請支援) |
| (4) T N K 株式会社 | (さいたま市SDGs企業認証制度申請支援) |

以 上

報道機関からのお問い合わせ先

法人コンサルティング部 コンサルティング営業室 細川 朝之

TEL (048) 641 - 6111 (代)

《SDGs 宣言策定企業の概要》（各社の宣言内容の詳細は別紙を参照ください。）

企 業 名	株式会社 リスター	株式会社 マルダイ
代 表 者	代表取締役 入澤 誠一	代表取締役 大城 潤
所 在 地	埼玉県新座市本多 1－9－4 5	埼玉県さいたま市緑区間宮 4 5 0－4
業 種 および 事 業 内 容	・ 各種塗床材・防水・貼床材撤去工事業 ・ 各種ブラスト工事業 ・ 各種塗床・防水・塗装工事	・ 解体工事業 ・ 土木工事業 ・ 建築工事業
創 業 または 設 立	2 0 1 6 年 4 月 1 日	2 0 1 2 年 5 月 2 8 日
宣 言 内 容	・ 環境にやさしい持続可能なまちづくりに貢献していく ・ 従業員の健康を意識した制度を導入し、健康経営を目指す ・ 長年培ってきた高い技術力を次世代に承継する ・ 環境や地域にやさしい会社を目指す	・ 安心して暮らせる持続可能なまちづくりに貢献していく ・ 従業員の健康に配慮した制度を導入し、健康経営を実践する ・ 施工技術とスキルを次世代に承継していく ・ 環境にやさしい建設会社を目指す

企 業 名	有限会社 原山高橋畜産	TNK 株式会社
代 表 者	代表取締役 奥田 和明	代表取締役 小高 将司
所 在 地	埼玉県さいたま市緑区原山 1－1－4	埼玉県さいたま市北区吉野町 1－3 4 2－3 0－1 0 3
業 種 および 事 業 内 容	・ 食肉卸売業 ・ 惣菜小売業	・ 太陽光発電設備工事業 ・ オール電化製品・機器の設置、メンテナンス業
創 業 または 設 立	1 9 8 4 年 1 0 月 3 日	2 0 2 0 年 1 月 2 9 日
宣 言 内 容	・ 安心・安全な『食』の提供によりすべての『ひと』を健康に ・ すべての『ひと』が『やりがい』を持って働ける職場を目指す ・ 創業以来お世話になっている地域への貢献を続けていく ・ 子どもたちへ環境や地域を残していく責任を果たす	・ Energy to create the future ・ 再生可能エネルギー事業を中心とし、多様なサービスを提供するダイバシティー経営実践しつつ、業界のリーディングカンパニーを目指す ・ 従業員が生き生きと働くことができ、スキルアップできる職場 ・ 『一人でも多くの人々』に貢献できる企業を目指す



2024年5月24日

株式会社リスター SDGs宣言

当社は国連が提唱する「持続可能な開発目標(SDGs)」に賛同し、
SDGsの実現に向けた取り組みを行っていくことを宣言します。

代表取締役 入澤 清一

SDGsの達成に向けた取り組み

環境にやさしい持続可能なまちづくりに貢献していく

- 当社は新座市を拠点とし、関東一円を施工区域として、下地処理工事(※)を行っています。
- 最新の機械や工法(※)、施工技術の向上を追求し、環境負荷を抑えて長期にわたり持続可能な建築物の施工を心掛けています。
- 今後も、下地処理工事を通じて、環境にやさしい、安心して暮らしていけるまちづくりに貢献していきます。
- (※) 下地処理工事とは、改修工事等の際に古い床材等を撤去して下地を整える工事のことで、床材・壁材の撤去、下地の研磨などの作業を行います。建築物完成前の大切な工程です。
- (※) 最新のショットブラスト工法は、遠心力により鋼球を投射し、投射材とはく離物を吸引捕集することで投射材を循環利用するため、環境にやさしく、短納期、高品質、低価格な工法です。



【指標】

環境にやさしい『ブラスト工法』の受注数 2023年 35件/年 ⇒ 2030年 100件/年(+285%)
環境にやさしい『モーター式ブラスト機械』の導入数 ⇒ 2030年 累計 +4台

従業員の健康を意識した制度を導入し、健康経営を目指す

- 従業員の健康が第一であることから、従業員の健康管理を応援していくほか、作業現場での安全対策も徹底していきます。
- 具体的には、福利厚生制度や休暇制度の拡充、定期的な社内レクリエーションの開催、作業現場での粉塵対策、他を順次行っています。



【指標】 健康経営を意識した制度の導入数 ⇒ 2030年 累計 5件

長年培ってきた高い技術を次世代に承継する

- 業務に必要な資格取得者を増やしていくため、今後も資格取得の支援(講習費、実費、他)を継続していきます。
- また、ベテランが若手や協力業者に技術指導を行うことで、当社の施工技術を承継するとともに、リスターの施工レベル統一化を目指します。
- 今後も、地元高校生の職場見学を受け入れていく他、地元人材を積極採用し、技術者として育成していくことで地域にも貢献していきます。



【指標】 施工管理等の国家資格新規取得者数 ⇒ 2030年 累計 2名

環境や地域にやさしい会社を目指す

- 地域のパートナー(取引先、協力企業、学校、自治体)を増加させ、ネットワークを拡大して事業を進めることにより、地域・社会貢献を行っています。また、地域貢献を更に進めるため、地域のイベントや祭り等への協賛数を増やしていき、地域の方々との交流も進めていきます。
- 環境にやさしい会社の責任として、業務の効率化や電子化によりペーパーレス化を進めていきます。



【指標】

地域の取引先やパートナーの数 2023年 取引先250社/協力企業3社 ⇒ 2030年 500社/6社
地域イベント等への協賛数 ⇒ 2件
コピー用紙の使用量 2023年 7,000枚/年 ⇒ 2030年 3,500枚/年(▲50%)





2024年5月31日

株式会社 マルダイ SDGs宣言

当社は国連が提唱する「持続可能な開発目標(SDGs)」に賛同し、
SDGsの実現に向けた取り組みを行っていくことを宣言します。

代表取締役 大城 潤

SDGsの達成に向けた取り組み

安心して暮らせる持続可能なまちづくりに貢献していく

- 当社はさいたま市を拠点とし、関東地方にて解体工事や土木工事を行っており、『常にお客様目線を忘れずに』をモットーに、高い施工技術とプロ意識を大切に業務を行っています。
- 今後も、建物の解体や土地の造成を通じて、地域の空き家問題の解決や治安向上に貢献していきます。そのため、作業現場での地域の方々とのコミュニケーションを大切にしていきます。
- 業容の拡大を計画しているため、地域の取引先や協力企業等のパートナーの数を増やしていきます。



【指標】

建物の解体等に関わる工事の受注数 2024年 200件/年 ⇒ 2030年 300件/年 (+150%)
地域の取引先や協力企業等のパートナーの数 2024年 35社 ⇒ 2030年 50社 (+15社)

従業員の健康に配慮した制度を導入し、健康経営を実践する

- 従業員の健康が第一であることから、従業員の健康管理を応援していくほか、作業現場での安全対策を徹底していきます。
- 従業員の健康維持を目的とした制度（福利厚生、休暇制度、職場環境、コミュニケーション向上、他）を充実させ、働きがいのある職場を実現していきます。



【指標】

従業員の健康維持を目的とした制度や仕組みの導入数 ⇒ 2030年 累計 5件

施工技術とスキルを次世代に承継していく

- 資格取得の支援（講習費、実費、他）を継続していくほか、ベテランが若手に技術指導を行うことで、施工技術を承継していきます。
- 新規採用活動を強化するため、HPの内容拡充や地元高校へのリクルート活動を強化し、地元人材を積極的に採用していきます。
- また、今後は外国人実習生の採用と育成に力を入れていきます。そのため、社員が寮長を努めて日本での生活指導を行っていくほか、海外で通用する日本の高い施工技術を教えます。



【指標】

従業員の新規採用数（地元人材、外国人実習生） ⇒ 2030年 累計 5名

環境にやさしい建設会社を目指す

- 引続き、現場で出る廃材、廃棄物、ゴミの分別とリサイクル（鉄、非鉄金属、他）を徹底していきます。
- 社用車（乗用車、トラック）の待機時間等のアイドリングストップを徹底し、CO2排出量を削減していきます。





2024年6月3日

有限会社原山高橋畜産 SDGs宣言

当社は国連が提唱する「持続可能な開発目標(SDGs)」に賛同し、
SDGsの実現に向けた取り組みを行っていくことを宣言します。

代表取締役 奥田 和明

SDGsの達成に向けた取り組み

安心・安全な『食』の提供によりすべての『ひと』を健康に

- 当社は創業以来約80年間、さいたま市を拠点として、地域の学校や保育園、病院等のお客さまに、毎日『安心・安全な精肉』を提供しています。
- 多くのお客さまが『子ども』や『高齢者』であることから、徹底した品質管理はもちろん、加工後はどんな小さな異物も残さないよう、全品手検査(※)を実施しています。
- 今後も、衛生管理体制強化の努力を続け、高品質で鮮度の高いすべての『ひと』に喜ばれる『食』を提供していきます。また、従業員の健康が第一であることから、従業員の健康管理を応援していくほか、工場での労働災害防止や配達時の交通安全対策も徹底していきます。
- (※)全品手検査とは、食品中に異物が残らないよう、作業員が衛生面を十分配慮して、触手にて全ての食肉の検査を行うことです。一口サイズに加工した食肉の検査では、『赤外線』等の装置では完全には異物を探知できないことがあっていいます。

【指標】有給休暇取得率の向上 2023年 平均50% ⇒ 2030年 平均80% (+30%)



すべての『ひと』が『やりがい』を持って働ける職場を目指す

- 当社は、シニア世代の雇用促進や、学歴や性別等にかかわらず採用を行っていますが、今後は、外国人実習生や障がいを持つ方も積極的に採用し、すべての『ひと』が『やりがい』を持って働ける職場を目指します。
- そのため、職場環境の整備を継続することに加え、誰もが活躍できる制度(介護・育児休暇、短時間・変形労働時間制、他)の導入を進め、地域の女性や高齢者を積極的に採用していくほか、さいたま市就労サポート事業(※)等に協力することで、障がいを持つ方達も安心して活躍できる職場を目指します。
- (※)さいたま市就労サポート事業とは、さいたま市と埼玉労働局が協働で実施している事業のことで、障がいを持つ方が地域で安心して自立した生活を営むことができるよう、関係機関と連携しながら就労支援等を行っています。

【指標】女性、高齢者、障がい者の採用数 ⇒ 2030年 累計 5名



創業以来お世話になっている地域への貢献を続けていく

- 今後も、さいたま市内を中心とした学校や保育園、病院等のお客さまに、毎日『安心・安全な精肉』を提供することを通じて地域貢献を行ってまいります。
- 学校給食に食肉等を提供していることから、地域の子どもの工場見学や職場体験学習(さいたま市『未来(みらい)くるワーク体験』)等の積極的な受け入れを続けていきます。
- また、『精肉』を提供している企業として、地元企業や飲食店との協業(商品開発、地産地消、イベント参加、他)にも力を入れていきます。

【指標】地域の学校、保育園、病院等の納入先 110先 ⇒ 2030年 150先 (+40先)
地域の子どもの職場体験受け入れ 1回/年 ⇒ 2030年 累計5名



子どもたちへ環境や地域を残していく責任を果たす

- 子どもたちへ、より良い『環境』や『地域』を残していく責任として、環境やエネルギー使用に配慮した事業を行ってきます。そのため、当社として取り組むことが可能な『環境にやさしい取組み』の検討を続け、実施できるものから実施していきます。(例: 資源・残渣回収業者との提携、汚泥の堆肥化、使用済み油のバイオマス燃料化、グリーンマーク製品の積極的な利用、廃棄ロス削減、他)

【指標】環境にやさしい取組みの検討と実施数 ⇒ 2030年 検討 累計10件/実施 累計3件





2024年6月5日

TNK株式会社 SDGs宣言

当社は国連が提唱する「持続可能な開発目標(SDGs)」に賛同し、
SDGsの実現に向けた取り組みを行っていくことを宣言します。

代表取締役 小高 将司

SDGsの達成に向けた取り組み

Energy to create the future

- 当社はさいたま市を拠点とし、日本全国で太陽光発電設備の設置工事や一般電気工事を行っています。
- 再生可能エネルギーが『地球』と『社会』にもたらす価値を信じて、その可能性を最大限に引き出すことができるよう、今後も貢献していきます。
- そのため、太陽光発電事業の施工発電量の増加を目指していく他、再生可能エネルギーに関する新事業のビジネスプランを継続的に発案し、事業化を行っていきます。



【指標】

太陽光発電事業の施工実績 2023年 12MW(メガワット※) ⇒ 2030年 60MW (+500%)
再生可能エネルギーに関する新事業のビジネスプランの数 ⇒ 2030年 累計 30件

(※) 1MW(メガワット)は1,000KW(キロワット)のことです。

再生可能エネルギー事業を中心とし、多様なサービスを提供する ダイバシティー経営実践しつつ、業界のリーディングカンパニーを目指す

- 従業員の健康が第一であることから、従業員の健康維持を目的とした制度や仕組み（福利厚生制度、様々な休暇制度、他）を充実させていきます。
- また、多様な働き方に関する制度も充実させ、働きがいのある職場を実現していくとともに、今後も女性を積極的に採用していくほか、女性の管理職を計画的に育成していきます。



【指標】

従業員の健康維持を目的とした制度や仕組みの導入数 ⇒ 2030年 累計 5件
女性従業員の割合/女性管理職の数 2024年 30%/なし ⇒ 2030年 30%以上/6名以上

従業員が生き生きと働くことができ、スキルアップできる職場

- 確かな技術力とノウハウにより、今後もお客さまの様々なニーズにお応えするため、技術者の育成に力を入れています。
- そのため、国家資格等の取得支援（講習費、実費、他）を継続していくほか、ベテランが若手に技術指導を行うことで、施工技術を承継していきます。
- また、技術の承継と業務効率化のため、各部署で業務マニュアルの作成を進めています。



【指標】

電気工事関連の資格取得者割合 2024年 83% ⇒ 2030年 90%以上
業務効率化のマニュアル作成数 ⇒ 2030年 累計 11件

『一人でも多くの人々』に貢献できる企業を目指す

- 子どもたちの教育（地域の中学校や工業高校、他）の分野において、個々の可能性を最大限に引き出す支援を行っています。また、地元さいたま市や当社の拠点がある地域において、地域イベント（花火大会、他）への協賛を行っています。
- 国際協力（WFP・プラン・インターナショナル）を通じて、開発途上国への支援も継続していきます。



【指標】学校等への支援や寄付の件数 2023年 1校 ⇒ 2030年 累計 10校

